

インバウンドコラム

中国 6月「端午節」小型連休

トレンドは「拼假」旅行 最大9連休！？

6月初旬は、中国、台湾、香港でも旧暦5月5日、端午の節句が祝日です。端午節には、ちまきを食べ、ドラゴンボートレースが行われます。中国大手旅行会社、途牛(Tuniu)が、5月28日現在の予約データに基づき、「端午節」小型連休トレンドを分析しています。今年の端午節連休は6月7日(金)から3連休。6月3日(月)～6月6日(木)有給休暇をとれば最大9連休の長期休暇となる「拼假(pīn jiǎ)」旅行が今年のトレンドです。2019年上半期最後の連休となる、端午節。消費者の旅行意欲は高く、途牛の予約データによると、4～6日間の旅行日数が最も多く、全体の40%を占めています。3日以下は31%、7日以上は29%です。(参照※1、図1)また、海外旅行(出境游)予約が全体の43%を占め、国内旅行(国内游)は37%、自宅近くへの小旅行(周边游)が20%。(参照※1、図2)出発ピークは6月7日前後と推測しています。団体旅行予約は、1980年代生まれの「80后」が最も多く、全体の4割近くを占め、90年代生まれの「90后」が23%です。今年の端午節は「高考(大学受験)」シーズンと重なってしまい、高校3年の受験生の多くは旅行には欠席です。6月1日(日)「国際こどもデー」、6月9日(日)「父の日」、さらに6月は大学卒業シーズンに入ります。そのため、今年の端午節連休の旅行テーマは「親子」、「大学卒業」、「親孝行」に注目が集まっています。人気海外旅行先トップ10は、日本、タイ、シンガポール、イタリア、インドネシア、ベトナム、フランス、スイス、ドイツ、ロシア。また、親孝行旅行で、クルーズでゆっくり旅行が人気で、途牛ではクルーズ商品にも注力しています。日本のクルーズ寄港地人気トップ3は、福岡、長崎、鹿児島。東南アジア人気クルーズ寄港地トップ3はプーケット(タイ)、ペナン(マレーシア)、クアラ・ Lumpur(マレーシア)で、これらへ寄港するクルーズ予約が好調です。(参照※1)

図1 端午節休暇日数分布



図2 端午節旅行先分布

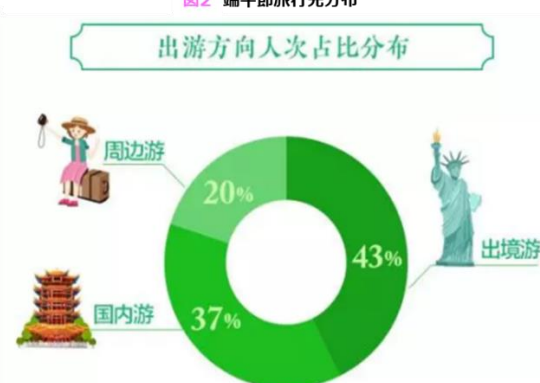


图1~2 出典元:途牛 via 旅游网

※1 途牛 2019 端午節旅行トレンドレポート - 旅游网

<http://www.dotour.cn/article/146209.html>